豊後大野市民病院広報誌

くすのき

第15号 | 2014.9　発行元：広報委員会

目次

■副院長ごあいさつ …… 2P
■栄養サポートチームの活動について …… 3P
■よりよい看護を目指して …… 4P～5P
■けんしん あんしん つうしん …… 6P
■シンボルマーク・マスコットキャラクターの募集 …… 6P
■患者さんの声 …… 7P
■コラム／人権標語／編集後記 …… 8P

病院の理念

◆地域の中核病院として、地域住民の生命と健康を守るために、安全で最新の医療と救急医療の提供を目指す。

◆豊かな地域づくりのために、保健予防活動に努める。

ホームページはこちら

日本医療機能評価機構 ver.6.0 認定病院

〒879-6692　大分県豊後大野市緒方町馬場 276 番地
TEL 0974－42－3121　　FAX 0974－42－3078
ホームページアドレス　http://www.bungo-ohno-hp.jp/

豊後大野市

災害を思う

豊後大野市民病院
統括副院長　佐藤俊秀

数年前になりますが、「千に一つへの備え」という短文をこの冊子に書いたことがあります。私たちが災害に対して常日ごろ漠然と抱いている不安感を数字にすれば、千に一つ程度のものかもしれないと考えたのです。

ところが実際私たちの周りで起こっている災害はそんなに少なくない印象です。記憶に残る地震だけでも、2003年十勝沖、04年中越、05年福岡北部沖、07年能登半島、中越沖、08年岩手宮城内陸、そして2011.3.11の東日本大震災といくつもあります。それ以前の奥尻島、阪神大震災も生々しく記憶に残っています。地震だけでなく、台風、豪雨、豪雪、竜巻、高潮、酷暑、火山の爆発など、人命や生活を脅かす自然災害は数え切れません。天災は人災を呼び、ガス爆発や火災、原発事故が傷ましい犠牲を生み、今も人々を苦しめています。日本規模で考えても災害はとても千に一つ程度の甘いものではないようです。海外ではスマトラ、チリ、ニュージーランド、中国、トルコなどで大きな震災が起こっています。天災は忘れたころにやってくる、とは言えない時代です。災害のことが頭を離れないのは、世界中から災害の情報がすぐに画像で送られ、目に焼きつけられるせいもあるでしょう。人口の増加や密集化、また生活レベルが向上した結果、災害で失うものがより大きくなり、復興の壁も高くなっていると考えられます。

病院はどう災害に備えればよいのでしょうか。来院した傷病者をトリアージし、受け入れ、診療するのは当然ですが、その前に病院自体が被災することを考えておかねばなりません。病院が日常の機能をそのまま維持できるかどうかの点検がまず必要です。水は、電気は、ガスは、酸素は、薬剤は、食事は、トイレは使えるか。なかでも電気が大切です。病院の環境は電気によって支えられているといっても過言ではありません。自家発電用の燃料はせいぜい3日間しか備蓄がありません。

8月30日に政府により広域医療搬送訓練が企画されています(この冊子が出るころには終了していると思いますが)。広域と云うのは地域(病院、市町村や県など自治体)の枠を超えた大がかりな訓練という意味です。南海トラフ巨大地震による津波で大分、宮崎、鹿児島の3県の主に沿岸部が被災したという想定です。警察庁、消防庁、防衛省など国の機関、熊本、神奈川、大阪ほか近県、遠県自治体が参加する大規模訓練です。当院も全国に600を数える災害拠点病院の一つとして、また被災県にある病院の一つとして参加します。執筆時点で当院の役割は未定ですが、近隣で発生した傷病者のトリアージと受入れ、他県からのDMAT隊受け入れ、患者後方搬送などの机上訓練、あるいは県央飛行場に設置されるSCU(staging care unit：被災地内の傷病者を被災地外へ搬送するための臨時収容施設)へのDMAT隊参加など、いろいろな訓練内容が想定されます。これらが大災害時の初動における当院の役割ということです。M8 ～ 9の巨大地震が30年以内に南海トラフのどこかで発生する確率は60 ～ 70%と言われます。その際の津波の高さや被害の予測はマスコミやインターネットを通じて広報されています。政府主導でこのような大きな訓練が行われるようになったのは、やはり阪神や東日本大震災の傷ましい教訓があればこそです。大きな犠牲を無駄にしないよう、地域でも広域にも災害に備えるのは、現代に生きる私たちの努めだと考えます。天災に対する備えとは、実は人災の部分をいかに小さく抑えられるかということだと思います。「こうしておけば、ああしておけば」では遅きに失したということになります。訓練においても想像力を働かせ、いざという時に具体的な行動ができるよう準備しましょう。

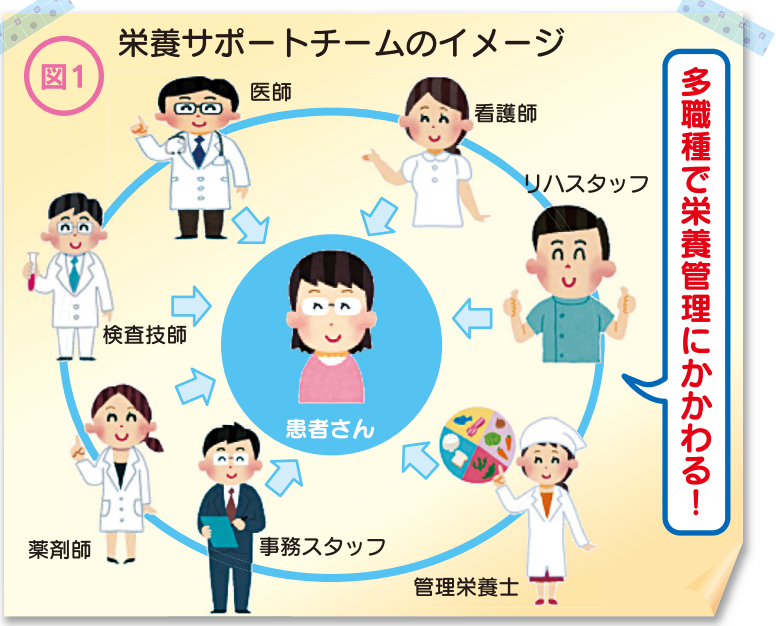
学会発表から

栄養サポートチーム（NST）の活動について

栄養管理室　管理栄養士　矢須田　侑兵

病気の治療を行っていく上で、栄養管理はとても大切です。特に、低栄養患者における栄養管理は、合併症予防・疾病の早期改善・リハビリ効果促進などに影響を与えると言われています。

当院では、栄養管理を必要とする患者さんに対して、多職種にて結成した「栄養サポートチーム（以下NST）」が、その治療に介入しています。チームメンバーは、医師をはじめとして、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリスタッフなど多岐に渡ります（図１）。



それぞれの立場から、必要な対応を提案し、よりよい栄養管理について検討しています。今回は、当院NSTが介入することにより、どのような効果がもたらされているのか、またどのようなことに着目し現在活動しているのかなどをご紹介いたします。

低栄養の患者さんは、摂取カロリーの不足が多くみられます。NST介入によって、適切な必要カロリー量が把握され、その結果、介入前と比べ平均摂取カロリーが約100kcal増加しました（図2）。また、栄養状態を表すデータの一つとして用いられる「血清アルブミン値」もNST介入後では増加がみられ（平成24年・25年度のNST介入患者データ）、NST活動が栄養状態改善に貢献してきました。

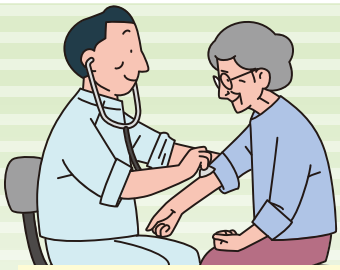
図2　NST介入前後での摂取カロリー及び血清アルブミン値比較（平均）

	摂取カロリー	血清アルブミン値
NST介入前	910.7kcal	2.4g/dl
NST介入後	1027.1kcal	2.5g/dl

総数：28名

現在では、NST活動をより充実したものにするため、対象となる患者さんを入院時の低栄養状態に限らず、摂食状況（摂食率50%以下、1週間以上の絶食が予定されているなど）を加味して決定するようにしました。これにより、近い将来に栄養状態不良に陥る可能性の高い患者さんをピックアップすることができ、より早い段階での介入ができるようになりました。

今後もNSTの一員として、管理栄養士という立場から、入院患者の栄養管理に取り組んでいきます。



～よりよい看護

この地域に必要な看護をより強化していくために、

皮膚・排泄ケア認定看護師

皮膚・排泄ケア認定看護師とは、健康を害した皮膚ならびに皮膚障害を起こす危険性の高い皮膚に対するスキンケアを中心に、褥瘡などの傷の管理や人工肛門・人工膀胱、尿、便失禁などの排泄の管理を行います。

患者さん、御家族がご自分でケアや管理ができるように支援を行います。また、病院内のスタッフからの相談を受け助言を行い、一緒にケアを行います。

認定看護師は、看護師とどう違うの？

同じ看護師に違いがありませんが、各領域のより専門性を高めた看護師になります。認定看護師になるためには、看護師として５年以上の経験を積み、各専門領域での実務経験が３年以上必要になります。書類審査や入学試験を経て、認定看護師を養成する学校に入学し、６～８ヶ月間の期間で講義や演習・実習を受けます。合格基準を受け無事に修了した者が認定試験を受けることができます。見事認定試験に合格し、登録されて初めて、認定看護師となります。認定看護師は、21の領域があり、全国に14263名(2014年７月現在)登録されています。大分県内には、151名の認定看護師が登録されており、今回、豊後大野市に初めて皮膚・排泄ケア認定看護師と摂食・嚥下障害看護認定看護師の２名が誕生しました。

認定看護師役割

3 看護職に対しコンサルテーションを行う。

相談

摂食・嚥下障害認定看護師

摂食・嚥下障害とは、食べ物を認知してから胃まで送り込むまでの、先行期、準備期、口腔期、咽頭期、食道期の段階のいずれか、または複数の段階に何らかの問題がある状態をいいます。原因は、脳卒中、認知症、加齢によるものなど様々であり、誤嚥性肺炎や脱水、窒息などを起こす危険性もあります。

厚生労働省から公表された平成23年の死因順位では、脳血管疾患にかわり肺炎は第3位となっています。また高齢者の肺炎の多くは誤嚥性肺炎であるといわれています。

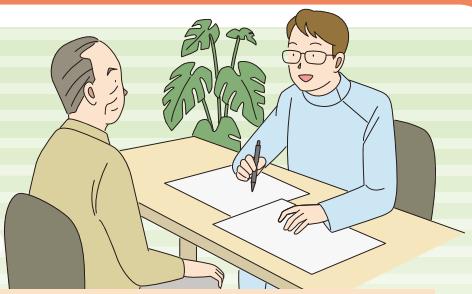
「口から食べる」ということは、生きていくために必要な栄養をとることはもちろんのこと、人間の大きな楽しみでもあります。

その口から食べるといった行為を継続していくためのケア等を行うのが摂食・嚥下障害認定看護師です。

今後さらに、専門知識を持った認定看護師の需要が高まることが見込まれます。本病院も看護の質の向上を

護を目指して～

、今年度初めて、2名の認定看護師が誕生しました。

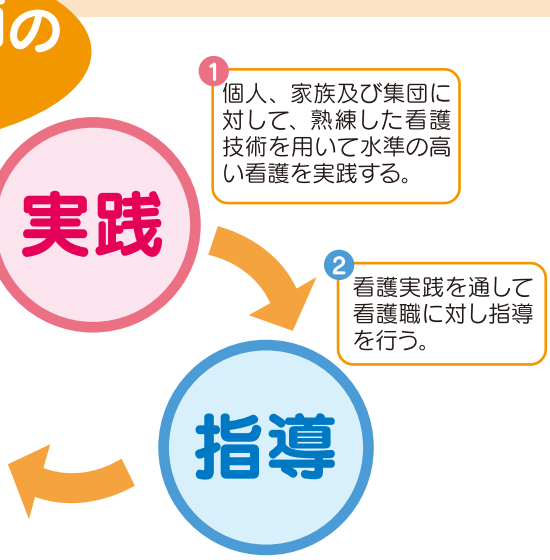


皮膚・排泄ケア認定看護師の活動について

現在、病棟の看護業務と兼任で認定看護師としての業務を行っています。皮膚障害をおこしている患者さんの皮膚の状態だけでなく、栄養状態や活動状況などから、なぜ障害が起こっているのか、医師や病院スタッフと一緒に考え、傷が治りやすい環境を整えています。また、人工肛門をつくられた患者さんの装具の選択や自宅でも同じように管理ができるように実際にケアを行いながら説明を行っています。院外では、看護学校や地域の施設で、スキンケアや人工肛門についての学習会を行っています。

認定看護師一年目でまだまだ未熟ですが、今後も自己研鑽を続け、地域の皆さんへ少しでも貢献できるように、頑張っていきたいと思います。

皮膚・排泄ケア認定看護師　**中田　清秀**



摂食・嚥下障害認定看護師の活動について

栄養サポートチーム(NST)の一員として、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士などの他職種と連携し活動を行います。様々な視点からアプローチすることができることがチーム医療の強みだと思います。

患者さんの経口摂取のリスクについての判断を行い、適切な食事形態の提供や姿勢調整、介助方法、リハビリテーションなどを検討することで、1人でも多くの患者さんの「口から食べたい」という思いを支え、安全で楽しく食べられるよう看護を行いたいと考えています。

摂食・嚥下障害認定看護師　**佐藤　龍馬**

を目指し、必要に応じてさまざまな分野の認定看護師を育成し、この地域の医療レベルの向上を目指します。

けんしん あんしん つうしん

＝受けて安心がん検診　年に1回がん検診を受けましょう！＝

9月はがん制圧月間です。豊肥地域の方のがんによる年齢調整死亡率は県全体の率より低い傾向にありますが、がんの早期発見早期治療のためには、年1回のがん検診が有効です。豊後大野市民病院健診センターでも各種がん検診を実施しております。

皆様の健康づくりにぜひご利用ください。

「健康診断で得たもの」

市内　60代　男性

豊後大野市民病院
健診センターがん発見者数

年　度	肺がん	胃がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	前立腺がん	年度合計
平成23年度	0	2	1	2	0	1	6
平成24年度	1	1	2	1	2	2	9
平成25年度	0	3	2	3	0	0	8

（平成26年6月30日現在）

私は、昨年11月に豊後大野市民病院で前立腺の摘出手術を受けました。1月に受診した健康診断で前立腺がんの腫瘍マーカーであるPSAの値が6.88と高い数値を示し、再検査でも同様の値が出たためです。以前「尿路結石」の治療を受けた際、PSAの検査を実施しましたが異常はありませんでした。それから6年が経過しましたが、その間、健康診断は受診したもののPSA検査は受診していませんでした。今回受診のきっかけとなったのは、知人が前立腺がんが原因で亡くなったことです。間近に健康診断を受診することになっていましたので、オプション検査のPSA検査を追加し受診しました。結果は前述したとおりです。医師から今後の検査方法や治療のしかたについて説明をうけ、3月初めに針生検を受けました。その結果、14本中2本からがん細胞が見つかり初期の前立腺がんと診断され摘出手術に至りました。術後の検査の結果、がんは完全に除去されていることがわかり経過も順調で現在に至っております。健康診断での早期対応が功を奏しました。あの時、「自覚症状がないから自分は大丈夫！」と決め込んでいたら大事になっていたかも知れません。

実は、私は前年の3月にもがんで右腎臓の摘出手術を受けています。がん発見のきっかけも健康診断です。胸部X線の再診通知をいただき再検査の結果、肺に異常は無かったもののフイルムの下部に変形した腎臓の一部が写り、CT検査の結果玉子大のがんができていました。この時も自覚症状はまったく無く発見が遅れていれば、他の臓器に転移し大事になっていたことでしょう。本当に幸運でした。健康診断も大事ですが、再診の通知を受けた場合は、早期に対応することが非常に大事であると痛感しました。

健康診断は、40数年に亘り毎年受診しています。40歳の頃から「高血圧症」を皮切りに、様々な病気や症状を見つけることができ、その都度適切な治療処置を行い、食生活に注意してきました。今後とも基本健診をベースにして年齢に合わせた検査を追加受診し、体調維持に努めたいと思います。

健康診断で得たもの、それは家族揃って健康に暮らすことができる幸福です。

豊後大野市民病院シンボルマーク、マスコットキャラクターの募集!!

豊後大野市民病院では、シンボルマーク及びマスコットキャラクターを募集します。応募の資格は問いませんが、作品はオリジナルであり、未発表のものとします。

また、採用された作品の著作権等一切の権利は、豊後大野市民病院に帰属することとします。

募集期間は定めませんが、決定した場合は、ホームページ上の告知により締め切らせていただきます。なお、採用が決定しない場合は、引続き募集していきます。

詳細及び、応募につきましては、豊後大野市民病院　医事・経営課までお問い合わせください。

※作品の返却はいたしません。また、制作等に係るいかなる経費についても本病院は負担しません。

○決定した場合の謝礼について

シンボルマーク、マスコットキャラクターに対し、それぞれ3万円を進呈します。

（※著作権を侵害する恐れのある場合は、取消とし謝礼等の返還を求めます。）

提出先・問合先

〒879-6692

大分県豊後大野市緒方町馬場276番地

豊後大野市民病院　医事・経営課

tel：0974-42-3121

fax：0974-42-3078

患者さんの声

病院では、患者さんの声をお伺いするため、御意見箱を設置しております。
今回は、その一部をご紹介いたします。

ご意見①

窓口で請求された金額を支払った後、家に帰って確認したところ、5年前の外来分もその日の受診分と一緒に支払っていた。不親切ではないか。また、今頃請求するとはどういうことか納得がいかない。

回答

不快な思いをさせてしまい申し訳ございません。

通常、会計窓口で未収金をいただく場合は、受診日や診療科、そして未収金額をお伝えし、お支払いをお願いするように努めていますが、この度は説明不足があったことをお詫びいたします。また、以前は未収金がある場合には窓口でのみ納入をお願いしていましたが、最近はそれ以外に最低でも年2回は文書で納入のお願いをしているところでございます。

今回起きたことは再発防止に向けて検証させていただきましたが、未収金管理の強化とともに窓口で未収金の納入をお願いする際には丁寧な説明を行うことを再度徹底したいと考えます。

ご意見②

平成14年11月に入院したことがあります。大分市内の病院に送られましたが、当時は双方の看護の在りようにビックリしました。今日の市民病院の看護の様子を拝見、涙がでるような改善ぶりに唯々うれしさで一杯です。

回答

お褒めのことばをいただきありがとうございます。大変うれしく思い、スタッフ全員で喜んでおります。この様な患者さんからの声を励みにし、今後も皆様に安心して入院生活を送っていただけるように、日々精進してまいりたいと思います。

今後とも豊後大野市民病院を温かく見守っていただけると幸いです。

ご意見③

Ⓐ風呂場に時計があれば良いと思います。(入浴時間の確認できる)
Ⓑ入院患者の各室の毎日の検診ですが、忙しいと思いますが概ね定まった時にしていただけるとありがたいです。
ⒸテレビサービスですがチャンネルにBSがあると大変良いと思います。

回答

貴重なご意見ありがとうございます。

Ⓐお風呂場の時計ですが、脱衣場に設置させていただきました。

Ⓑ毎日の検診(検温)についてですが、看護師がいつ来るかと不安な気持ちでお待たせ致しまして申し訳ございませんでした。看護スタッフと検討し、午前は11時前後、午後は14時～15時、夜は20時前後に伺いたいと思います。他の患者様の状況で時間通りに伺えない場合もございます。その際はお声を掛けさせていただきます。

Ⓒテレビのチャンネルにつきましては、ご不自由をお掛けして大変申し訳ありません。病室のテレビについては、業者とのリース契約で導入しています。現在リースを受けているテレビはBS受信ができないものとなっており、リース契約期間が終了する平成27年度末までは機種変更ができません。恐れ入りますが、それまでの間は変更ができませんので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。直ちに導入する予定はありませんが、今後の検討課題といたしますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

コラム

まくわうり　　杜子春

分校の壊れしまゝに甜瓜（まくわうり）　山本けんぬち

しばらく八百屋やスーパーから姿を消していた甜瓜を、最近ちょくちょく見かけることがあると思いませんか。明るい黄色の薄い皮を剥いて中の種をぬき、輪切りにして食べるとほのかな甘みがあります。以前に比べメロンはもちろんトマトも西瓜もどれも糖度を増して立派な果物に昇格している今日、ひとり取り残され忘れ去られようとしている感じです。しかし、後味の爽やかな冷たい甜瓜は夏の水分補給にもってこいで、血圧調節に一役買うカリウムや造血のビタミンと呼ばれる葉酸も多く含まれています。句の作者山本けんぬち氏は、筋ジストロフィーという難病で青森県の国立療養所で生活されている方ですが、ノルマとして自らに課した一日五句という多作の中から、句誌に選ばれた作品の一つが上の句です。同じ作者に次のような句があります。「車椅子漕げやたんぽぽ黄の限り」、「六月やかろがろと漕ぐ車椅子」、「看護婦に軽く負はれて衣更」、「看護婦の一語一語や冬近し」。

豊後大野市「人権を守り、差別をなくす」標語

あいさつで
心のとびらを
ノックする

編集後記

今年は4年に1度のサッカーワールドカップの年でした。朝早くからのTV放送で、この期間中は寝不足の方も多かったんじゃないでしょうか？結果は日本代表チームがグループリーグ敗退という残念な結果となってしまいましたが、最後まで攻める姿勢を見せてくれたと思います。

ザックジャパンは個々の連携を最重要ポイントにあげており、これは医療にも言えることです。個人ではなくチームとして動くことで大きな力となり、個人では到底成し遂げられないような困難なことでも達成できるようになります。

いつか優勝ができるようなチームになると信じていますが、本病院も日本代表に負けないようにチームワークを大切にしながら頑張っていきたいです。㋭

当院敷地内では全面的に禁煙となっております。ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

※表紙の写真は、手術室内での佐藤俊秀先生（麻酔科医）の様子です。